

瑞岩寺報

2017.01.01
(平成29年 睦月)

【正月号】

お正月総合案内

お正月ご祈禱法要

お正月は毎日、天地が招福除災を祈念する大般若ご祈禱を勤行します。お正月は前年の悪を反省し、新たな年の誓いを立てる、年初めにふさわしい行事です。

ご祈禱は左記の通り行われます。

厄年厄除・病氣平癒・交通安全・良縁成就・開運厄除・家内安全・無事成就・商売繁盛・学業成就・試験合格などのご祈禱のお申し込みは同封の申込書をお寺まで持参されるか、ファックス(0276-37-5535)してください。申込用紙はホームページからダウンロードできます。ご希望日時をお書き下さい。

【期 日】 1月元日(日)

1月2日(月)

1月3日(火)

【時間】

午前9時・10時・11時
午後1時・2時・3時頃の6回

【ご祈禱料】

ご祈禱紙札(小) 3,000円
ご祈禱木札(中) 5,000円
ご祈禱木札(大) 10,000円

ご祈禱木札(特大) 20,000円

【お願い】

- 一、お願い毎は二つまでにしてください。
- 一、ご祈禱札にはお守りがつきます。
- 一、法要にはなるべく本人がご参加ください。
- 一、希望の方には郵送しますので申し込み書にお書き下さい。

大般若祈禱会のご案内

【期 日】 1月7日(土)

【時間】 午前10時から

瑞岩寺本堂にて本年より大般若祈禱会を厳修いたします。600巻の膨大な經典に及ぶ大般若経(大般若波羅蜜多経)を転読する(盛大に読み上げて読誦する)ものです。

年始参詣

【期 日】 1月元日～3日

【時間】 午前7時頃～午後5時まで

※本堂にて新年の挨拶をされた方に、瑞岩寺の新年祈禱札と平成29年度カレンダーをさしあげます。是非、皆様お揃いで気軽にお出かけ下さい。

厄年早見表

◇からだの変わり目◇

	後厄	本厄	前厄
男の大厄	42歳 昭和50年	51年 昭和51年	52年 昭和52年
女の小厄	37歳 昭和55年	56年 昭和56年	57年 昭和57年
女の大厄	33歳 昭和59年	60年 昭和60年	61年 昭和61年
男25歳の厄年	平成4年	5年 平成5年	6年 平成6年
女19歳の厄年	平成10年	11年 平成11年	12年 平成12年
幼児4歳の厄年	平成25年	26年 平成26年	27年 平成27年
男女61歳の厄年	昭和30年	31年 昭和31年	32年 昭和32年
13歳詣り	男女 平成17年		

お墓そうじ 瑞岩寺にお墓のある方へのご案内です

【期 日】 12月25日(日)

【時間】 午前7時から

お正月が近づいてきました。お墓のお掃除をしましょう。この暮のうちに仏壇をきれいにして鏡餅を供え、お花を飾り準備を整え、元日早朝、若水を



汲み供え、一家そろって仏壇に手を合わせ、よき新年をお迎えになることは、私たちの善行の始まりだと思います。さらに、お寺に参拝してご先祖様に感謝の誓いを祈ることこそ意義深い初詣になると思います。一斉お墓掃除を右記のごとく行います。たまには早起きしてお墓掃除も気持ちいいものです。お子さんやお孫さんといっしょにどうぞ。

- ◆強制ではありません。また、上記以外の日や時間も受け付けております。
- ◆自分のお墓の掃除が終わったら、通路など共有の場所のお掃除も積極的にお願いします。
- ◆遠方の方はお寺でやっておきますのでご安心ください。
- ◆飲み物はお寺で用意してあります。

曹洞宗 宝林寺住職
駒沢女子大学 人文学部 日本文化学科主任教授

千葉公慈さん

インタビュー

住職

千葉先生、今回はどうもありがとうございます。先生とは、テレビ朝日の『ぶっちゃけ寺』で一緒にさせていただきまして、いつもお世話になっております。

先生のお話は「番組のエンディングは千葉先生に頼め」と言われているほど素晴らしいので、私も含め出演しているお坊さんたちも、いつも勉強させていただいています。今日もいろいろお話を聞かせていただきます。よろしく願っています。

千葉

こちらこそ、よろしく願っています。

住職

まず、先生のこれまでの歩みをお聞きしてもよろしいですか？

千葉

私は宝林寺というお寺の生まれで、お寺が創立400年の年に生まれました。今は、そこで住職を務めておりま

ることもありましたが、気づいたら修行道場に行っていたと。そんなかたちでございます。

住職

そのお話はうかがってもよろしいのですか？

千葉

はい。あまり明るい話ではないですが、父の手伝いをしていました時、一人の男性のご葬儀がありまして、中年の方でしたが、中学生になったかならないかくらいのお嬢さんがいらつしやいました。火葬場で最後のお別れの時、お嬢さんが棺につかまって嫌だ、嫌だと泣いていらつしやいまして、もちろん気持ちちはわかるのですが、火葬場にも次の流れがありますし、職員の方もお仕事ですから、「申し訳ありませんが」とそのお嬢さんを引きずるようにして場を制し、葬儀は肅々と進んでいくんです。私は、もういたたまれなくなりました。私には絶対できない、こうして淡々と進めるようなお務めはできないと思っただけです。

そのことで父と口喧嘩のようなことになったり、家族の中でもめたりもしたんですが、私自身、いろんな本を読んだり経験したりするうちに、「ああ誰かがこういうことをする運命なのかな」という気になりました。

千葉

そして、高校三年生の時だったと思うのですが、法事が終えた年配の方が父のところにご挨拶にいらつしやって、

「いい法事ができました」と泣いて喜んで見えたんです。それで、お務めが喜ばれることもあるのだな、やってみようかなと。もしダメなら還俗すればいい、行けるところまで行こうと仏教学を本気で勉強するようになりました。

住職

先生は駒沢女子大学で、インドの唯識を教えていらつしやると聞いていますが。

千葉

駒沢女子大学では、一般大学でいう宗教学のような形で、社会人になった時に宗教とはどういうものかとか、仏教の教えとはどういうものかという、教養科目をいくつか教えています。あとは専門として唯識とか、道元禅師の書物なども授業で扱ったりしています。

ありがとうございます。それでは、先生のご専門の中からいくつかお話をしていただきたいんですけども。まず、「卍(まんじ)」についてお聞かせ願えますか？

千葉

はい。お寺のマークがどうして「卍」なのかを真剣に調べたことがあるのですが、実は決定的な論考はないというのが真相のようです。諸説紛々としている中で概して申し上げられる

住職

ありがとうございます。続けて、ご著書にあった「夜爪を切ると親の死に目に会えない」についてお話しただけですか？ よく聞く言葉ですが、これはどういうことなのでしょう？

千葉

本にも書きましたが、祖霊崇拜の枝葉末節的な信仰ということになるかと思いますが。「夜に爪を切つてはいけない」ということが正しいとか間違えているとかではなく、それが言い伝えとしてあるならば、一体どんな意味があるのかということを目に勉強しました。そうしますと山岳信仰まで辿

のは、「卍」の形がねじれているところ。これがキワードになっている気がします。

例えば、以前、『ぶっちゃけ寺』で一緒にさせていただいた時に、お寺の厄よけと神社の厄よけはどが違うのかというものがありません。仏教も宗派によって様々ありますが、私たちが曹洞宗では、厄払いを強く前面に出しているお寺はないと思います。

住職

はい、していないと思います。

千葉

道元禅師もそういうことはおっしゃっておりませんが、初期仏典を見ても「すべてを受け入れて、そして、それをどう人生に生かすか」というのが全体に共通する受け皿のように思います。その意味では、幸せも不幸も、自分にとって良いことも悪いこともすべてを受け止めた中で、それを自分のものとして因果律を見つめ直していく。「禍福はあざなえる縄のごとし」という言い方もありますが、もし仮に悪いことがあったとしても、それを自分のものとしてねじつていこうと。

先生、ジャンケンをする時に、腕をぐっとねじつたことはいませんか？

住職

あります。やりますよね。

千葉

負けが続くと、今度は勝ちになるよ

うにねじれを大事にします。そういう感じで「厄を転じて福と成す」と申しますか、マイナスのことをプラスのパワーに変えていこうと。薬も毒でなければ作用として薬にはなりません。毒にならないものは薬にもならないわけですよ。ですから、仮に自分の欠点や何か悪いことが思い当たったとしても、それは欠点や災いではなく、自分にとってプラスのエネルギータンだと変えていくのが仏教のような気がします。人間の勝手な思い込みで良い悪い、幸、不幸を考えてはならないというのが仏教的な見方ではないでしょうか。

住職

苦しみも喜びも、悲しみも幸せも、心がつくり出すものですよ。

千葉

その通りだと思います。『ぶっちゃけ寺』に出演するのめかんなりのプレッシャーですが、時の流れの運命かと思えば、これを何かに変えていかなきゃいけないのではないかと思うんですね。プレッシャーを自分のマイナスで終わらせるのではなく、もし自分になにかしじりがあったとしても、それがまわりのプラスになるなら、私のしじりは自分でメソメソすればいいのかと考えるようにしています。

住職

なるほど。でも、先生にしじりなんてあるのですか？

ありがとうございます。番組で長谷川先生と問答した時も、もつとあ言えればよかった、こう言えればよかったとかです。

住職

ぶつつけ本番ですからね。私も直前に問答を頼まれて、絶対千葉先生に恨まれるなと思っただけですけれど(笑)。ロケも直前に決まりますし無茶を言いますよ。

千葉

やっぱりマイナスをプラスじゃありませんが、あの番組全体が禅問答のような気がします。「あ、今、力量を試されているのだな」と。それでつぶれてしまうのは、まだ自分でできてないんだと、一応そう思うようにはしています。

住職

素晴らしいですね。あの緊張感は半端ではないですよ。私も『ぶっちゃけ寺』に出演するようになってから、保育園の園児から「園長、この前テレビ見たよ。ちよつと緊張してたね」なんて言われています。でも、お檀家さんやお寺や保育園の職員も喜んでくれますし、講演会の依頼も増えて、お仕事幅が広がったと感じています。

千葉

苦しみを楽しみに変えつつですね。そして、その中で自分の活路を見出せ

「いい法事ができました」と泣いて喜んで見えたんです。それで、お務めが喜ばれることもあるのだな、やってみようかなと。もしダメなら還俗すればいい、行けるところまで行こうと仏教学を本気で勉強するようになりました。

住職

先生は駒沢女子大学で、インドの唯識を教えていらつしやると聞いていますが。

千葉

駒沢女子大学では、一般大学でいう宗教学のような形で、社会人になった時に宗教とはどういうものかとか、仏教の教えとはどういうものかという、教養科目をいくつか教えています。あとは専門として唯識とか、道元禅師の書物なども授業で扱ったりしています。

ありがとうございます。それでは、先生のご専門の中からいくつかお話をしていただきたいんですけども。まず、「卍(まんじ)」についてお聞かせ願えますか？

ありがとうございます。続けて、ご著書にあった「夜爪を切ると親の死に目に会えない」についてお話しただけですか？ よく聞く言葉ですが、これはどういうことなのでしょう？

住職

ありがとうございます。続けて、ご著書にあった「夜爪を切ると親の死に目に会えない」についてお話しただけですか？ よく聞く言葉ですが、これはどういうことなのでしょう？

千葉

本にも書きましたが、祖霊崇拜の枝葉末節的な信仰ということになるかと思いますが。「夜に爪を切つてはいけない」ということが正しいとか間違えているとかではなく、それが言い伝えとしてあるならば、一体どんな意味があるのかということを目に勉強しました。そうしますと山岳信仰まで辿



り着くことがわかりました。

住職

そうなんですか！

千葉

ええ、山岳信仰とは、簡単に言いますと亡くなった死者の祖霊が山に還っていくというような考え方ですね。御岳山や富士山、白山など、山々の高いところに亡くなった魂が戻って行き、そして、山頂付近で死者が蘇る。死者再生の祈りですね。そういうことから霊魂は高いところ、尖ったところに宿るんだというようなことがうかがえます。それに、よくよく調べてみますと海外にもあるんですね。例えば、山がないところに山を作って死者を再生しようとしたのがピラミッドですよ。

住職

あれは山なんですか。

千葉

はい。あとインカ帝国のマチュピチュ遺跡もそうですが、住まいそのものが山の高いところにあつて、死者再生を行うということも伝えられております。

また、山の高い場所を山の「先端」「尖った部分」と考えますと、指先、爪を切るというのもそれに通ずるところがあるのではないかと。

住職

なるほど。指先も精霊の宿る「先

端」ですね。

千葉

それから、夜という点ですが、例えば、丑三つ時に願掛けをするように、あの世とこの世がボーダーレスになる時間帯というのがあります。大晦日から正月にかけての除夜の鐘なんているのも一つのボーダーレスなところですね。日本人は古代宗教の時代から境目、あの世とこの世がつながるところをととても大事にしてきました。そんな大事な時間帯に、大事にするべきものの先端を粗末に扱ってはいけないと考えられたのではないかなと。

住職

なるほど！

千葉

また、よく民族学で、「ハレ」と「ケ」というようなことを言いますが、特別な時間、特別な場所というものを日常の生活、日常の時間と分けて考えたいですね。指先のような神聖な場所は、日常生活の明るい時、つまり「ケ」の部分の働きとして行おうというようなことが背景にあつたようです。もちろん、夜はよく見えないから指先を傷つけたらするというのもあつたと思います。考え方には諸説ありますから、その代表的なものを本でご紹介したということですね。

住職

そうでしたか。本当に勉強になりました

すね。あと、「指切りげんまん」のお話もとても面白かったですけれども。

千葉

かなり前に本を書いたので、厳密には覚えていないのですが、その昔は、お金の貸し借り、あるいは江戸時代の遊廓での約束ごと、秘めごとなどの証として指を切るということが実際にあつたという報告がいくつもありました。

住職

約束を守らないと、本当に指を切つたんですか！

千葉

はい、そのくらい切羽詰まった約束事というのが始まりのようです。ただもちろんこれにも諸説ありまして、いや、そうではないという指摘もありますし、本当にあつたという記録も随分出ております。

それに、これも先ほどの指先のお話に通じるんですね。やはり指先は大事という意味がありますね。霊柩車を見たら親指を隠すというのもありますよね？

住職

ええ、よくやりましたね。小さい時に。

千葉

自分の命がそこから抜け出ないように守る、あの世に引つ張られないとい

千葉

深刻なケンカはないですよ。それでも「自分の考えは自分の考えなんだ」と、当たり前のことですが、それは相手の気持ちではないのだと思うわけですよ。

私、『男はつらいよ』の第1作で好きなシーンがあるんですよ。寅さんと、妹のさくらの好きな相手がケンカをするシーンがあるんですが、相手が「どうして私の気持ちを察することが

できないんだ」と言うと、寅さんは「察することなんかできるか。例えばお前がぶつと屁をするだろ？ 俺のけつからはぶつと出ないんだぞ」と言うわけです。それを聞いた時に、はたと「ああ、人間は一人きりなんだ。例えば世界を動かすほどの正しい真実を自分が語ったとしても、それを真実として受け止めてくれるかどうかは、その人がどう受け止めるかなんだ」と思ったんです。家内とケンカする時は、いつも「自分のおならはあいつからは出ないんだ」と、矛を取ることにしています(笑)。

住職

寅さんに感謝ですね(笑)。ありがとうございます。引き続きお話をうかがいますが、先生、「どっこいしょ」のお話もお願いできますか？

千葉

はい、「どっこいしょ」ですね。これも諸説あるのですが、その中の有力な説の一つに「六根清浄(ろっこんし

うおまじないですけれども、実際にこれだけのという話ではありませんが、文化として気を使ってきたということは歴史的に見受けられます。

住職

ありがとうございます。ご著書の中で「あきらめる」ということも述べておられました。それをお話しいただけますか？

千葉

長谷川先生や私たちが必ずお読みする『正法眼蔵』の「修証義」というお経、「生をあきらめ死をあきらむるは仏家一大事の因縁なり」というものがあります。ある時、お檀家さんから「住職、生まれるっていうのをあきらめたり、死ぬっていうのをあきらめたりするのが大事なんだね。俺もあきらめたよ」と言われたことがありまして、「いや、違うんだよ」と笑いながら答えたものの、「そうか、現代人はギブアップすることをあきらめるというのか」と。

でも、「修証義」の中の「あきらか」は、明らかにする。つまり徹底的に究明することです。つまり徹底的にギブアップという真逆の意味なんです。仏教語には、こうした真逆になっているものがありまして、こりや面白いと。日本人の言葉の特性だと思っ

住職

その代表例が「あきらめる」だと？

ようじょう」という言葉が「どっこいしょ」になったというものがあります。

「六根」の「根」は、インドの言葉で「インドリア」という言葉の翻訳で、能力のことなんです。能力とは、「見る・聞く・嗅ぐ・味わう・触れる・考える」の6つです。人間の全ての能力、そしてその精神的な働き、それを「清浄」、清らかなものとするということですよ。

私たちは普段の何気なく生活しているうちに、自分目線、自分の考え、自分の思いでそれらを取り込んでしまっている。煩惱によって判断を誤ってしまう。「六根清浄」は、窓の曇りを掃除するように、心の中を掃除してあげましょうと言っているのだと思います。そして、「六根」の働きが明らかに掃除された時、虚心坦懐ですね、明鏡止水と言ってもいいんですが、冷静な自分で見たり、聞いたり、嗅いだりすることができるよう。

立ち上がる時や、荷物を運ぶ時にも「どっこいしょ」と言いますが、そういう人間が体を使ったり、頭を使ったりする時に、「どっこいしょ、六根清浄なれ」という願いを込めた、そういうおまじないの言葉として受け継がれているということですね。

住職

本当にいろんな言葉が仏教から出ていますよ。先生、「いろはうた」のこともお話しされてましたよね？

千葉

「修証義」の意味は、「生きていくってどういう意味なのか、死にゆくというのはどういう意味なのか、これを徹底的に最後まで究明せよ」ということだと思えます。死というと、「忌まわしい、不吉だ」となるわけですが、死は決してそういうものではなく、生きていても魂が抜け殻のようになってしまふこともありますし、その上で、何をもって生きているのか、何をもって死ぬていくのかということは、また別のステージになってくると思うんです。「あきらめる」ということは、徹底的に究明した後に新しい問題意識をもつことまで含めた意味になるのではないのでしょうか。

私たちは何か一つのことを究明しようと思うと、そこでわかった・わからないという判断をしがちですが、では「わかった」ってなんだろうと思うと、わかったというのは、つまり、わからないことがわかったのだと。ソクラテスの「無知の知」ではないですが、一つの問題意識が次の段階に入つたということではないでしょうか。

住職

やはり自分で考えるということが大事ですよ。人に質問して教えてもらつてもなかなか身に付きません。

千葉

往々にして質問というのはそういうものですね。どうしても正義感が強いと自分の価値観を押し付けてしまいま

千葉

「いろはうた」といえば、「色は匂へど 散りぬるを 我が世誰ぞ 常ならむ」ということですが、これは仏教で言いますところの諸行無常、生滅滅已、「この世は移り変わり、一つとしてどまるものは何もない」ということを表していると言われています。

「いろはうた」の一番大事なところは、「有為(うい)の奥山」という部分だと思っですね。「有為」は、サンスクリット語のサンスクリタという言葉の訳で、この世にあるもの、作られたものを、時間の定義を受けたもののことを言います。一方、「無為」はサンスクリット語のアサンスクリタの訳で、時間の定義を受けない、あるいは縦、横、高さがあるような世界ではない。つまり、あの世のことです。「有為」の世界から「無為」の世界に「今日越えて」行くのですから、これはあの世へ行くということかもしれませんが、仏教的に言い換えれば、悟りの世界に赴くということだと思います。そうすると、「浅き夢見し 酔ひもせず」と、この世が浅い夢であったと俯瞰できる、鳥瞰できるといのでしょうか。これまでは違うレベルから見ると、浅い夢のようであったと表現されている。まさに仏教の教えを凝縮したものと言われておりますね。

昔はこれを寺子屋で、小さい子が習っていたわけですね。

住職

住職 昔はこれを寺子屋で、小さい子が習っていたわけですね。

千葉

はい。それが大事だったと思いますね。学問というものが一つの意味をもったメッセージであり、教訓であり、人生に生かされる実学だったと思うんです。単に言葉を音や記号として教えるのではなく、メッセージのある言葉として教えていたとすると、現代人の私たちよりもはるかに高度な学問を修めていたんじゃないかと思うことがあります。日本語はいろはうたであれど、私はいつも思っているんです。

住職

ありがとうございます。言葉についてはこれが最後の質問になりますが、「安心(あんじん)」について教えてくださいいただけますか？

千葉

私たちはよく「安心(あんしん)する」と言いますが、仏教語では、「あんじん」と言います。昔、こんなお話を素録で読んだことがあります。6世紀の前半になりますか、インドから中国へ禅を伝えるために菩提達磨(達磨大師)という方がいらつしやったときのお話です。ある時、慧可(えか)という若者が達磨大師に「私の心は不安でいっぱいなんです。どうか私の辛く切ない不安という心を先生のお力で取り除いてください」とすがる思いで聞くわけですね。すると達磨大師は「わかった。では、ここにあなたの言う不安というものを取り出してみせなさい。私

のようですが、不安は心のことですから形がありませぬ。しばらくして慧可さんが、「先生、よくよく考えました、不安というのは心のものですから取り出すことはできません」と言いますと、達磨大師は「そうか、よかった。もうお前の不安を私は取り除いてあげたのだよ」と答えました。話はそれで終わりですが、これは非常に深いメッセージだと思っですね。

私たちは、不安というものがどこか押し付けられたり、外部からやってきたりするものと思っっているんですが、実は不安は自分自身が作り出しているんです。だとすると、悲しみに打ちひしがれて辛くてどうしようもない時であっても、せめて自分だけは自分を追い込んではいけなと思っですね。もちろん、問題が悪化してひどい結果になるかもしれない。他人に迷惑をかけることもあると思っね。でも私は、いつも工事現場の「安全第一」というのを思い出します。命あつての物種ですからね。どうにもならないことは放っておこう。そして、自分で自分を追いつめるのはやめよう。そこが「安心」ではないかと思っね。もちろんもつと深い意味があるとは思いますが、自分のこととして考えた時に、現代人は自分も含めて余計な不安に追いつめられていることが多いような気がします。疑心暗鬼というのはまさにそういうことだと思います。あの人苦手だと思っても、実際に会ってみるとそうではなかったということも意外とあるんじゃないでしょうか。

住職

ありがとうございます。私がD.Jを務めている『金曜は聴きこみ寺』には、よく「死」に関するご質問をよくいただきます。人間にとっての永遠のテーマですけれども、千葉先生にとって「死」とは何でしょうか？

千葉

「死」には二つあるとよく言われますね。一つは肉体の死。形あるものには時間の流れを受けて始まりと終わりがあつね。必ずいつか壊れる定めがあり、その意味で誰もが逃れられませぬ。もう一つの死は、忘れ去られる時だと言われませぬ。誰かに思われている時、その時には、おそらくメモリー(記憶、記録)には命が宿っているんだと思っね。だとすると、肉体を離れたとしても誰かが思ってくれたら、それは、その人が生きているということじゃないでしょうか。

住職

ある意味では亡くなっているけれど、ある意味では亡くなっていない。

千葉

はい、亡くなっていないと思っね。ただ、思い出になるならまわりの方が喜んでくれる思い出を目指したいと思っね。人間は生まれる時には「本人が泣いてまわりが喜ぶ」。そして死ぬ時は、「本人は安らぎの境地にいてまわりが泣く」ものです。「死」は確かに悲しいものですが、本



人は安らかなんだとまわりの人に思ってもらえたら、これはしめたものだと思っね。少なくとも、お坊さんはそういう生き方をしなければいけないと思っね。

住職

そうですね。それでは最後の質問です。皆さんにお聞きしているのですが、先生にとって幸せとは？ また豊かさとは？ もう一つ、せつ々かなので、悟りとは？

千葉

では順番に豊かさから。現代では今日もまた新たな技術が生まれ、どんどん便利で快適になって、ものの上では

豊かになつていと思っね。これほど便利で快適になつていのは、本当は苦しみがなくなるはずなんです。ひよつとするとそうではないのではなかつたかと思っね。現実はどう思っね。自分はどう思っね。こうあるべきだとか、自分はこう思っね。こうあるべきだとか、自分はこう思っね。このギャップは広がっているのかもしれない。でもここは2500年にわたる仏教の知恵を拝借したいと常々思っね。豊かさというのは幻影ではなかつたのか、幸せというのは幻ではなかつたのか」と思っね。時に本来

の意味に戻るのはないかと。本でも書かせていただいたのですが、例えば「幸福(こうふく)」という言葉は、「福を乞う」、福を願うとポイント返るんです。福というのは功德、恵みと言い換えてもいいと思っね。恵みを乞い願うと訓読みするわけです。そして、これが「幸福」だとすると、幸福状態であることが幸福ではないと気づかされるように思っね。誰かが「どうありたい」と願つたなら、その瞬間その人は幸福だと言えませぬ。そうしますと、ある一定の状態が幸せとか豊かということではなくて、幸せや豊かさを目指す時に、実は幸せだったり豊かだったりするのではないかと思っね。

住職

なるほど、願っている状態にある時に幸せや豊かさを感じるのかもしれない。では、悟りはいかがでしょうか？

千葉

悟りについては、最近、真面目に初期仏典でトレースしたことがありまして、とても面白いことがわかりました。お釈迦様の時代は、悟りと言っ言葉は非常にハードルが低かつたことがわかつたんです。

一例をご紹介しますと、お釈迦様が懇々と説明をしたら、7歳の男の子がそこで悟りをひらいて、阿羅漢(あらかん・聖者のこと)になつたという記録があるんです。そして、なんと5

00人の盗賊を訓示して戒め、仏弟子にしたという記録があるんです。常識的に考えるとこのお話は有り得ないと思っね。男の子と同じように、現代でいうところの家庭の主婦のような人や働くお父さん、あるいはおじいちゃん、おばあちゃんが次々にお釈迦様に接して悟りを開いているという事実を目の当たりにしますと、実は悟りというのは「気づく」という意味で、今よりももうちょっと身近なものだつたのではないかということがわかります。

もちろん、7歳の男の子が悟つたということと仏陀ご自身が悟つたということと同レベルでは扱えませぬが、「悟る」「気づく」ということがもつと身近にあつてもいいような気がします。「ああ豊かさってこういう意味だつたんだ」とか、「なんだ、幸せってこんなにそばにあつたんだ」って気づいていただきたいと思っね。そして、その気づきから始まつて、やがて深淵な真理、世の中全体の真実ということに気づくというところまで行かれたら、それはそれで最高だと思っね。最終ゴールだけが「悟り」というよう考え方は、もう一度反省したい。私はそう思っ者の一人です。

住職

素晴らしいお話、どうもありがとうございます。ありがとうございました。

千葉

こちらこそ、ご無礼しました。

晋山結制式のお礼

過日10月15、16両日に盛大に行われました晋山結制江湖会法要をご修行するにあたり、配役のご寺院諸老師をはじめ多くの檀信徒の皆様より浄財をお寄せいただき温かいご法愛を賜り、無事円成できましたことを心より厚く御礼申し上げます。

前任職の後を継承し、寺門の興隆を檀信徒の皆様方のために、一層の精進努力をいたす所存であります。今後とも相変わりにませず、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

瑞岩寺住職 長谷川俊道 九拜
 檀信徒総代 青木 一佳 合掌
 檀信徒副総代 林 敏市 合掌
 護持会世話人一同 合掌



お知らせ

◆ podcast 好評配信中！

『HASEの金曜は聴きこみ寺』

ホームページからダウンロードできます！

最近、いつコンビニに立ち寄りましたか？ 唐

突な質問で困惑させてしまいましたね。普段の

生活において、気軽にフラットに立ち寄るの

が足りない時に近くコンビニに立ち寄るの

がよくある日常です。でも、こまかつた時、何かの

に引掛かる悩みが生まれた時、あなたはど

うしていますか？ 当番組は、群馬県・太田市に

ある瑞岩寺の住職・HASEさんの、実はコンビ

ニの倍近くの数が存在するお寺に、何かあれば

フラットと立ち寄ってほしいをテーマに生まれ

ました。「職場の上司と反りが合わず仕事が苦痛

です」「子どもの好き嫌いが多くて困っていま

す」「ミュージシャンへの夢を捨てきれず悩

んでいます」「明日は初デート！ どうし

ょう！」etc. 人には言えない悩みも、日常

のささいな疑問もHASEさんにお話してみ

下さい。何かと忙しく、悩み多い日々。

お耳をお貸し下されば、少し疲れたそんな心

をHASEさんがチャクリとホンワカ癒やします。

【HASEへの質問・お悩み相談】

kikomi@zuiganji.com

ペンネーム、年齢、性別とともにお寄せ下さい！

・ iTunesでお聴きになる方には、

https://itunes.apple.com/jp/podcast/

komatta-shino-tingkikomi-si/

id624486999?mt=2

・ PCで直接聴取される方には、

http://podcast5.kitatas.jp/kikomi/

すべての人に佛さまの智慧と慈悲を

宗教法人 **慈眼山 瑞岩寺**

群馬県太田市矢田堀町388

TEL:0276-37-1231/FAX:0276-37-5535

E-mail:info@zuiganji.com

Website:http://www.zuiganji.com

ブログ <http://ameblo.jp/zuiganji/>

- ◇御意見、御要望はいつでもお知らせ下さい。
- ◇お身体をお大切に、お健やかに暮らしてくださいませ。
- ◆み仏さまの御加護を心からお祈りいたします。 合掌